



1 大盛り上がりの体育祭でした。ご声援ありがとうございました。

14日(土)の体育祭はあいにくの空模様でしたけれども、市総合体育館という快適な環境で無事に開催できました。多くの方々にご観覧、ご声援をいただき、生徒たちはいつも以上にエネルギーを沸き立たせました。

さて、体育祭といえば、炎天下での事前の集団訓練、行進の練習……保護者世代なら懐かしくも、キツくてたまらんかった、そういう思い出があるのではないのでしょうか？

近年、温暖化による熱中症の危険性、新型コロナ沈静化以降の半日開催の定着等、社会環境の変化に合わせて、実施時期、事前準備練習、当日の内容等はだいぶ様変わりしてきました。全県的にもそのような動きが見られますが、串高は体育館開催の先駆けの高校です。私自身、体育祭は5年ぶり、体育館での経験は初めてだったのですが、なかなかよいものですね。

回を重ねるにつれ、串高のスタイルが確立されてきていると思いますが、次年度以降も工夫を凝らして、生徒の笑顔がはじけ、充実感をもたらす体育祭にしていきたいと思うことでした。



2 動から静へ 来週は期末テストです。



今週は通常の授業が続きました。体育祭の余韻を断ち切り、全体的に落ち着いた授業態度のようです。定期テストは、1年生は高校では初めて。2・3年生も前年度の2月以来となります。

ところで、近年、「知識」偏重からの脱却と「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」も適切に評価するために、定期テストを廃止する高校が増えています。本校でも、部分的に、今年度は1学期中間テストを無くしたところです。

定期テストに代わる評価方法として「単元テスト」を多くの学校で導入しています。本校でも、一つの単元が終わったところで、テストや提出物等により評価を行い、学習評価とともに生徒個々の定着度を確認する場面が見られます。教科の特徴に応じて様々な評価方法があり、例えば、英語なら、右上の写真のように、ALTとの1対1での対話を通して、英語のコミュニケーション力を総合的に評価しています。



とはいえ、**24日(火)からの期末テスト**は重要な学習評価の場面。しっかり準備して臨んでほしいものです。教室はエアコンが効いていますが、まったくとしている場合ではないのです！

インスタ、FBもご覧ください。串木野高校、頑張っています！（文責 立森）